令和４年度　保健体育科　第２学年「保健」シラバス

単位数	１　単位	学科・学年・学級	普通科　２年　１～８組
教科書	最新高等保健体育（大修館）	副教材等	最新高等保健ノート（大修館）

１　学習の到達目標

個人及び社会生活における健康や・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

２　学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	2単元 生涯を通じる健康	1思春期と健康 2性への関心・欲求と性行動 3妊娠・出産と健康 4避妊法と人工妊娠中絶 5結婚生活と健康 6中高年期と健康	思春期における体の変化について説明できる。思春期の心の発達にかかわる健康課題が説明できる。 性意識の男女差を，具体例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスをあげることができる。 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。 心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 年をとることにともなう心身の変化にはどのようなものがあるか説明できる。中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて説明できる。	授業観察 保健ノート 授業プリント 各学期末考査
9 10 11 12	3単元 社会生活と健康	7医薬品とその活用 8医療サービスとその活用 9保健サービスとその活用 １０さまざまな保健活動や対策 1大気汚染と健康 2水質汚濁，土壌汚染と健康 3環境汚染を防ぐ取り組み 4ごみの処理と上下水道の整備 5食品の安全を守る活動	医薬品の正しい使用法について説明できる。医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 さまざまな医療機関の役割について説明できる。医療サービスを受けるときの留意点をあげることができる。 保健行政の役割について例をあげながら説明できる。保健サービスの活用の例をあげることができる。 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。 大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。地球規模の環境問題について，例をあげて説明できる。 水質汚濁の原因とその健康影響を説明できる。土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 こんにちの環境汚染の特徴について説明できる。環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できる。 ごみの処理の現状や，その課題について説明できる。安全で質のよい水を確保するためのしくみと課題を説明できる。 行政，生産・製造者による食品の安全のための対策について例をあげて説明できる。食品の安全のため，私たち消費者がおこなうべきことを例にあげて説明できる。	授業観察 保健ノート 授業プリント 各学期末考査

1 2 3	3単元 社会生活と健康	6働くことと健康 7働く人の 健康づくり	働く人の健康問題が，どのように変化してきたかを説明できる。 労働災害の防ぎ方についての原則を説明できる。 職場がおこなう健康増進対策について例をあげて説明できる。 余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。	授業観察 保健ノート 授業プリント 授業内テスト

3　評価の観点

関心・意欲・態度	生涯の各段階における健康の課題に応じた自己の健康管理の必要性及び保健・医療機関の活用について関心をもち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたり、意欲的に学習しようとしているか。 環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について関心をもち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしているか。
思考・判断・表現	生涯の各段階における健康の課題や自己管理の重要性、保健、医療機関の活用について、自分の学習や経験を元にしたり、資料や仲間の意見や考えなどを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断しようとしているか。 環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について自分の学習やけいけんを元にしたり、資料や仲間の意見や考えなどを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断しようとしているか。
知識・理解	生涯の各段階における健康課題や保健・医療機関の活用などについて理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けようとしているか。 学校や地域、労働の環境を健康に適したものにすること、食品の安全性を確保する必要があることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けようとしているか。

4　評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断，知識・理解の３観点から総合的に評価する。

5　担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること理解し実践できるようにしよう。